

若葉っ子だより

平成24年1月31日
尼崎市立若葉小学校

子どもに伝わる効果的なほめ方

「教育推進に関する保護者アンケート（学校評価）」へのご協力、ありがとうございました。昨年度の回答率は71%でしたが、今年度は84%と高く、若葉小学校の教育のあり方に深く関心を持っていただきましたことに大変感謝しております。保護者アンケートの結果は、次回の若葉っ子だよりでご紹介いたします。この結果を踏まえて本校職員の自己評価を行い、3月の職員会議において本校教育の検証・見直しを図り、次年度の計画を立てていきます。

今号では、子どもをほめるときのポイントを紹介いたしますので、参考にしてください。

① 「心を込めて直接ほめる」

まずは、本人と面と向かって直接ほめることが重要。そして、言葉に気持を入れて相手に伝えることに加えて、子どもと目を合わせてほめるなど態度で示すことが必要。

② 「具体的な内容でほめる」

ただ「良かったよ」「上手だね」などのほめ言葉を言われても、どうしてほめられたのかわからないので、何か釈然としないもの。そこで、ほめるポイントとなった子どもの行動なり態度なりを加える。例えば「お皿をきれいに洗ってくれてありがとう」「大きな声で本を読むことができて良かったよ」など、具体的に子どものことをほめる。

③ 「タイミングを逃さずほめる」

ほめるとしたら、やはり、その行為をした後すぐに、ほめ言葉をかけられるとうれしいもの。なるべくその場、その時を逃さずにほめることが大切。

④ 「結果だけでなくプロセス（過程）もほめる」

子どもが良い結果を出した時にほめるのはよくある事。しかし、結果が思わしくなくても、その結果を生み出した全部のプロセスがダメということはまずないと思うので、プロセスの中で一つでも良い点を見つけて、そこをほめ、次の行動へと導いていくことが大事。

⑤ 「第三者を通じて間接的にほめること」

お母さんが言ったほめ言葉が、お父さんを経由して子どもに伝わるといった感じ。直接ほめられるのもうれしいが、時には間接的にほめてもらうのもうれしいもの。

⑥ 「当たり前なことでも継続していることをほめる」

子どもがやって当たり前だと思ってしまうと、ほめたり感謝したりすることが少なくなるのでは？例えば、子ども達が毎日あいさつをすることを当たり前だと認識してしまうと、大人はほめることが少なくなる。当たり前のことであっても続けていることに対しては、折りをみてほめてあげるとも必要。
(出典：教育情報サイト)

また、遅くなっておりますが、学力生活実態調査の結果を、職員会議等で検討したこと、分析と対策を含め、近日中に「若葉っ子だより（臨時号）」でお知らせします。

《 2月の行事予定 》

1(水)	委員会活動	15(水)	クラブ活動（最終）
2(木)	代表委員会	17(金)	児童集会
3(金)	地区バスケットボール大会(6年)	21(火)	参観・懇談(4.5.6年.わかば) 口座振替
7(火)	口座振替	22(水)	参観・懇談(1.2.3年)
9(木)	市スピーチフェスティバル	23(木)	校外指導(環境学習3年)
10(金)	児童会役員選挙	24(金)	学校保健委員会(6校時を振替えて14:30下校)
11(土)	建国記念の日	27(月)	全校朝会
13(月)	全校朝会	28(火)	集金日 6年社会見学
14(火)	新1年生入学説明会	29(水)	委員会活動（最終）

【 参観・懇談日について 】

2月の参観日と学級懇談は、今年度最後ということもあり、ゆっくり話し合っていたくために、低学年と高学年の日を分けました。

【 書き損じハガキについて 】

道意町の新年会で、一人のご婦人に呼び止められ、「校長先生、学校便りに書き損じハガキを集めていると書いてあったから、持ってきたよ。」と袋に入れた20枚の書き損じハガキをいただきました。子ども達の活動に協力していただいたことと、若葉っ子だよりを読んでいただいていることがうれしくて、お礼を言ったところ、「いつも読んでるよ。」とうれしいお言葉。他の方からも「楽しみにしています。」との声もあり、定年間近の校長であっても、ほめられるとうれしいもので、これからもがんばろうって思いました。(書き損じハガキ、まだ集めています。)

【 スーパードッジボール大会について 】

2月11日(土)9時～16時まで、中央中学校体育館で、尼崎市小学生スーパードッジボール大会があります。道意町の鬼塚市議員が中心になって、若葉サッカーの子ども達を中心にチームがつけられました。20チーム以上のエントリーがあるそうです。ガンバレ！若葉っ子！

【 学校保健委員会について 】

2月24日(金)午後2時30分から、本校多目的室（東館3階）で、学校保健委員会を開催いたします。テーマは「煙草の害」で、内容は児童保健委員会による保健劇、学校薬剤師の前川彰子先生による講話などです。煙草が有害だということは子どもでも知っていることですが、煙草は入門薬物といわれ、一度習慣化されるとなかなか止められないものです。私ごとですが、夫が昨年末から禁煙を始めました。今まで何度も「禁煙する！」と言っては続かなかったのですが、娘婿の肺気胸の手術で切り取った黒い肺の一部や、「痛い痛い」と一晩うなっていたのを見て、今回は本気モード。回復した娘婿といっしょに禁煙を始めました。家族としては一安心です。喫煙者のみなさんも、前川先生のお話を聞いて、愛する家族のために禁煙を試みてはいかがでしょうか。



真剣に書き初めに励む6年生の子ども達

【 人事について 】

わかば学級の片山雅之教諭が、1月23日(月)より2ヶ月間の病欠療養休暇に入りました。後任として、昨年度もわかば学級を担任(9～3月)していた上田絹代教諭が1月24日(火)付で着任いたしました。よろしくお祈りします。